

超高強度繊維補強コンクリートパネルライニングによる構造物補修 ダクトルパネルライニング工法



ダクトルパネルライニング工法は、超高強度繊維補強コンクリート(ダクトル)を用いた高耐久性薄肉埋設パネルです。ダクトルパネルをコンクリート構造物に適用することで、構造物の長寿命化、維持管理費の縮減を実現することができます。

また、その他パネルライニング工法と違い、周囲の景観を損なうことが無く、修景利用が可能です。

ダクトルパネルライニング工法の特徴

- ① 薄肉化により運搬・組立が容易に行えます。また必要に応じて加工も可能です。
- ② 型枠材としてコンクリート打設時の側圧等の荷重に耐える十分な曲げ強度、剛性を有しています。
- ③ 打設されたコンクリートと一体化し、鉄筋のかぶりとして考慮でき、圧縮部材の有効断面として適用できます。
- ④ 塩害、凍結融解及び摩耗等の発生する劣悪な環境下においても、コンクリート構造物に高耐久性を付与します。
- ⑤ ダム、頭首工の土砂吐けや固定堰等、耐衝撃、耐摩耗工法として適法可能です。
- ⑥ 景観向上のための表面化粧や着色が可能です。(FRPM板等、その他パネル工法では対応できません)

ダクトルパネルの物性及び仕様

物性値一覧

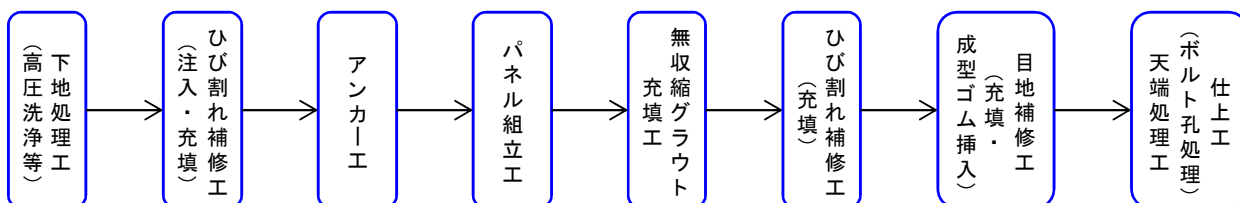
項目	特性値
粗度係数	0.0087(平滑板)
圧縮強度	210N/mm ²
曲げ強度	43N/mm ²
引張強度	10.8N/mm ²
静弾性係数	54kN/mm ²

仕様

項目	特性値
密度	2.55g/cm ³
板厚(一般仕様)	20mm以上
板厚(修景仕様)	25mm以上(模様含む)
板厚(特殊)	30~50mm (頭首工エプロン部等)

※上記の値は、試験結果の代表値であり、品質保証値および規格値ではありません。

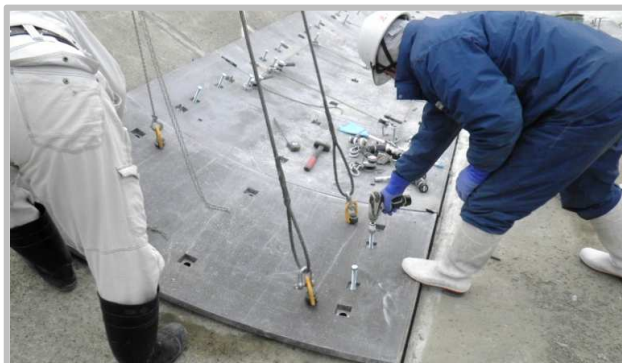
ダクトルパネルライニング工法 施工フロー



ダクトパネルライニング工法【頭首工仕様】の施工例



① 下地処理工(高圧洗浄)



② パネル設置工(高さ調整)



③ アンカー工



④ パネル設置工(パネル固定)



⑤ 無収縮グラウト充填工



⑥ 仕上げ工(充填材充填)

ダクトパネルライニング工法【水路・ダム】の施工例



水路：導水路



ダム：土砂吐け部

この内容は2019年7月現在のものです